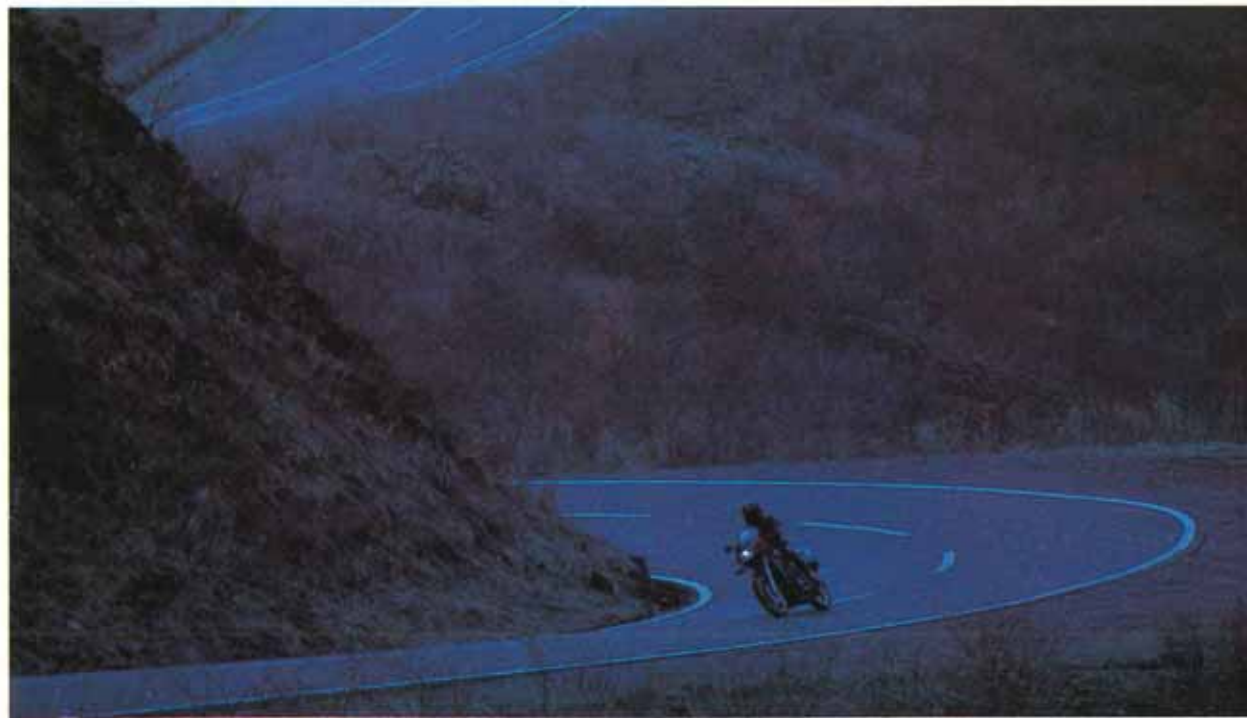


YAMAHA XJ400Z-S/XJ400Z



興奮が、駆けぬける。



400ccバイクシーンに、スーパースターがやってきた。誕生、XJ400Z-S、XJ400Z。水冷・DOHC・16バルブ、そしてY.I.C.S.。究極のハイメカニズムを得たパラレルフォア・エンジンには、55ps/11,500r.p.m.の高出力と53km/ℓ^{*}の低燃費をマーク。対向ピストンキャリバー型トリプルディスク装着。バリアブルダンパー装備のセミエア式フロントサス、ニューリンク式モノクロスサスペンションと、足まわりも万全。数々の革新装備を満載して、若きロードの勇者たちへ。スロットルを開け、このジェット感覚ともいべきスムーズな吹け上がりを体感してほしいXJ400Z-S、XJ400Z。いま、興奮が駆けぬける。 ※60km/h定地走行テスト値、運輸省届出値



る。

そしてY.I.C.S。
 をマーク。対向
 式モノクロスサス
 ット感覚という
 テスト値、運輸省届出値

LIQUID COOLED-DUPLIC
XJ400
XJ400
 YICS



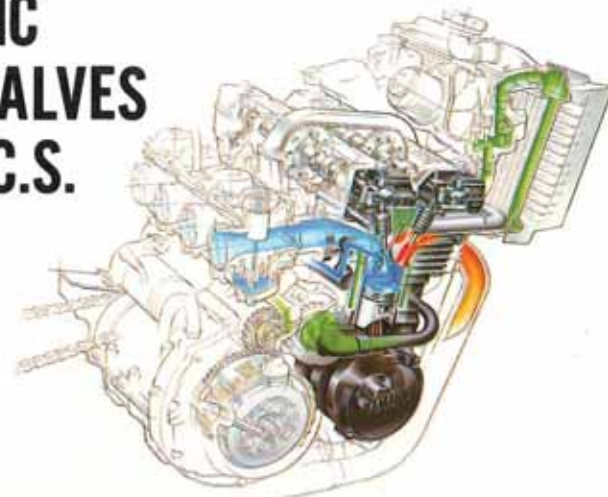
LIQUID COOLED • DOHC • 16 VALVES

XJ400Z-S

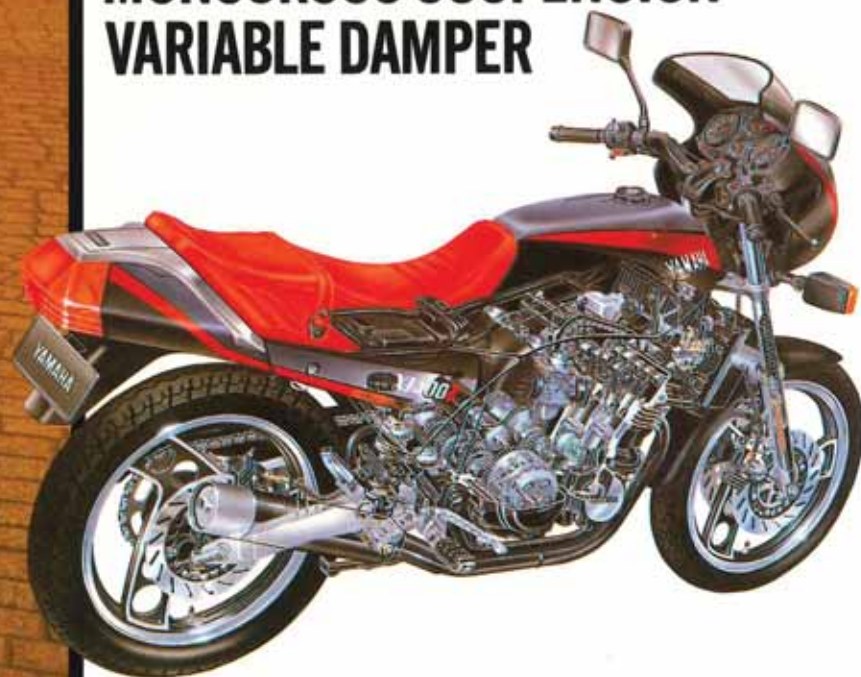
XJ400Z

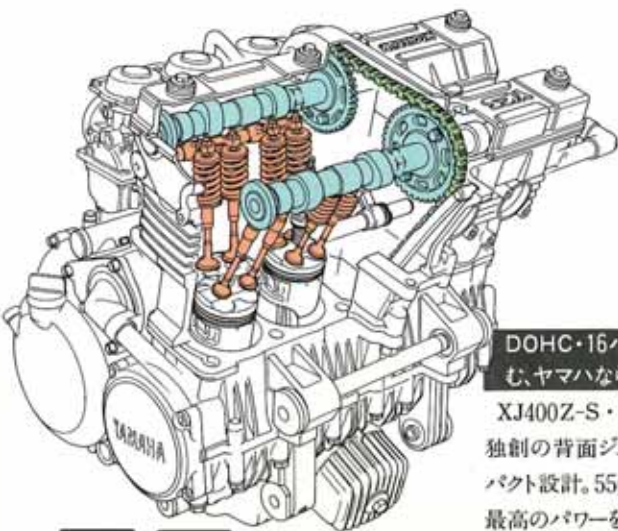
YICS

**LIQUID-COOLED
DOHC
16 VALVES
Y.I.C.S.**



**NEW LINK TYPE
MONOCROSS SUSPENSION
VARIABLE DAMPER**





55^{ps/} 11,500r.p.m. LIQUID-COOLED DOHC 16VALVES Y.I.C.S.



DOHC・16バルブ。高回転、高出力を生む、ヤマハならではのコンパクト・マルチ。

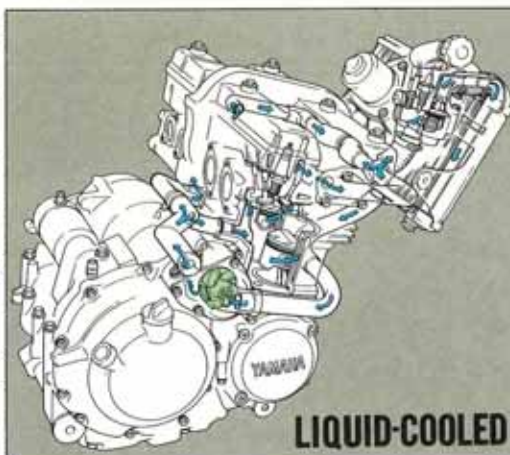
XJ400Z-S・Zの4気筒エンジンは、ヤマハ独創の背面ジェネレーター方式によるコンパクト設計。55ps/11,500r.p.m.というクラス最高のパワーを発揮するこのパワーユニットは、DOHC・16バルブ方式を採用。2本のカムシャフトがロッカーアームを介して吸排気バルブを開閉。慣性質量を軽減し、バルブの追従性を高めました。さらに、バルブは“くびれ”を入れたウエストタイプとし、シリンダースリーブには大径バルブのマスキングを防止する4ヶ所のバルブ逃げ加工を施すなど、吸排気効率をいざんと向上。中低速性能を犠牲にすることなく、高速性能をアップさせています。また、バルブスプリングには不等2段ピッチのダブルスプリングを採用し、バルブの開閉をより正確なものとしたほか、吸排気各5ヶ所のカムシャフトキャップを設け、

カムシャフトの回転域を極限まで可能とするなど、細心の設計を施しました。加えて、ボア・ストロークを54×43.6mmとショートストローク化、バルブ挟み角を36°(18°-18°)と立て、燃焼室を燃焼効率にすぐれたベントルーフ型としたほか、クランク、カムシャフトのジャーナル径を小径化し、ロス馬力の低減を図り、高圧縮、高回転、高出力を実現。またケースカバーをラバーフローティングとしたほか、カムチェーンにはサイレントチェーン

を採用し、メカニカルノイズと振動をも低減。バルブ調整を容易にするアジャストスクリュー式の採用、オートカムチェーンテンショナーの採用など、メンテナンス性も高めています。しかも、ヘッドカバー、ケースカバーをマグネシウム製としたのをはじめ、クランク、ミッション、クラッチ、ジャーナル、レイシャフトからハイポチェーンまであらゆるパーツの見直しを図り、大幅な軽量化を達成。軽量・コンパクトなマルチエンジンを生み出しました。

水冷システムの採用が、DOHC・16バルブの真価を、遺憾なく発揮させる。

そのすぐれた実力をあますところなく発揮させなければ、DOHC・16バルブ化も本来の意味がない。そう考えて、ヤマハは水冷方式を採用。XJ400Z-S・Zの水冷ユニットは、軽量コンパクトなアルミ製シングルコア型ラジエーターを前部にもち、ウォーターポンプをク



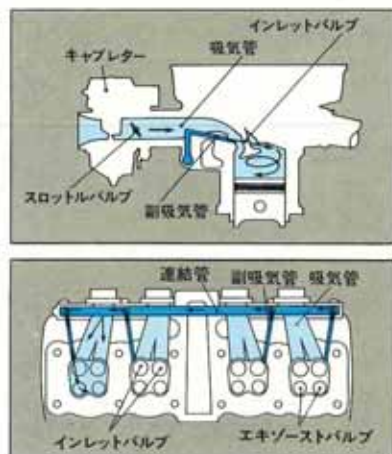
LIQUID-COOLED



55psのハイパワー。ジェット感覚の吹け上がり。 究極のメカニズムが、熱い走りを生んだ。

ランクケース右側に設置。暖機を早くオーパーキュールを防止するサーモスタット、ラジエーターを強制的に冷却する電動ファン、メンテナンスの容易なリザーブタンクも装備。この水冷システムの採用により、XJ400 Z-S・Zは10.5:1という高圧縮比を可能とし、55ps/11,500r.p.m.、リッター当り137psの比類なきハイパワーを達成。さらに、メカニカルノイズを低減。ヘッドカバーのラバーフローティング等とあわせて、本来静かなマルチエンジンにより静かなものとしています。加えて、長時間走行のパワーダウンを防止。エンジンの信頼性をさらに高いものとした。この水冷・DOHC・16バルブのメカニズムを得たXJ400 Z-S・Zのパワーユニットは、低速からのジェット感覚とも言えるべき吹け上がり、とクイックなレスポンスを実現。そのスムーズな加速フィーリングは、他の追従を許しません。

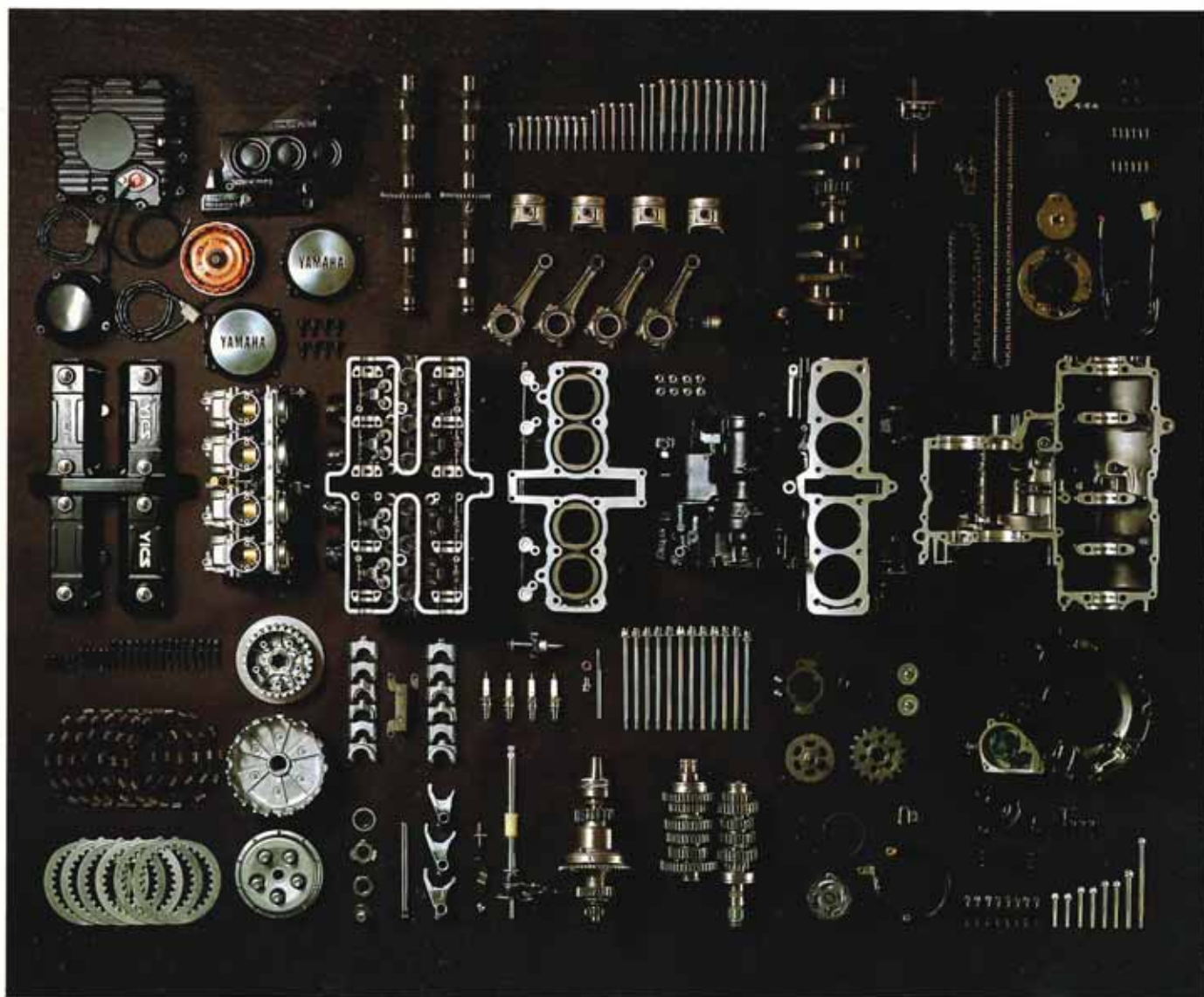
53km/ℓ(60km/h定地走行テスト、運輸省届出値)の低燃費をマーク。ヤマハ独創のY.I.C.S.搭載
XJ400 Z-S・Zは、ヤマハ独創の省エネルギーシステムY.I.C.S. (ヤマハ・インダクション・コントロール・システム) を搭載。このシステムは、各シリンダー毎の吸気管に副吸気管を設け、各副吸気管をシリンダー後上部に一体成形した連通管で連結。1つのシリンダーが吸気行程にある時、他のシリンダーとの間に生じる負圧を利用して、副吸気管を介し他のシリンダーの混合気を同時に流し、シリンダー内にスワールを起こさせ、燃焼効率をアップするというもの。XJ400 Z-S・Zは水冷・



DOHC・16バルブのメカニズムに加え、このY.I.C.S.を採用したことによって、ハイパワーとあわせてすぐれた燃費性能をも実現。リッター当り53km*の低燃費をマークしています。

*60km/h定地走行テスト、運輸省届出値

ここまで鍛えあげた。電子進角式フルトランジスタ点火。左右連結大容量マフラー。
点火方式には、メンテナンスフリーで信頼性の高い電子進角式フルトランジスタ点火を採用。これは電子回路で点火タイミングを制御する高度なシステムで、特にこのXJ400 Z-S・Zは2段進角方式とすることにより、よりエンジンの特性にマッチした点火タイミングを獲得しています。また排気系は、4本のエキゾーストパイプを2本に集合させて、これを膨張反転構造の大容量マフラーへとつなぐ構造。エキゾーストパイプ集合部とマフラー部で左右を連結し、軽量ながら、低騒音はもちろん、中低速から高速までの性能向上を図っています。



その全身が、存在を主張する。このマシンは、400ccの常識を超えた。



NEW LINK TYPE
MONOCROSS
SUSPENSION

BLACK CHROME MUFFLER(ZS)

フットストッパー兼用のマフラスターをアルミダイキャスト製としたほか、XJ400Z-Sのマフラーはゴージャスなブラッククローム仕上げをしました。リヤビューをさらに精悍なものにしています。またチェーンには耐久性にすぐれたシールチェーンを採用しています。

MUFFLER STAY

TRIPLE DISK BRAKE

ストップパワーも強力。対向ピストンキャリバー装備のトリプルディスクブレーキ。

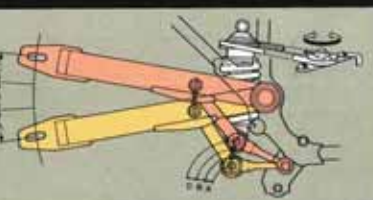
その圧倒的なパワーに見合って、XJ400Z-S・Zはストップパワーも十分に強力。スロットレッド・トリプルディスクとしたばかりか、ディスクそれぞれにレース等でその実力を知られる対向ピストンキャリバーを装備。コントロールでタッチのよい制動フィーリングを実現する強力無比のブレーキシステムです。また、キャストホイールはニューイタリックタイプ。バネ下重量を軽減し、路面への追従性を高めました。タイヤは、フロント90/90-18、リヤ110/90-18の偏平チューブレスです。

モノサスの先駆者ヤマハが生んだ新しい結論。ニューリンク式モノクロスサスペンション。

XJ400Z-S・Zは、リヤにニューリンク式モノクロスサスペンションを採用。これはヤマハが生んだモノクロスサスペンションの優れたシステムを生かし、リンク機構を設けることによってさらに性能をアップさせたもの。一般走行や小さなギャップでは柔らかく、中間ストローク域では徐々に硬く、ギャップ通過時などの大きなショックに対しては強くダンパーが働くという、理想的なライジングレート特性を獲得しています。しかも、リンク機構はきわめてシンプルかつコンパクト。大幅な軽量化と重量マスの集中化をもたらし、マシンの重

心を下げることにも貢献。操縦性、走行安定性をさらに高次元なものへと高めました。また、クッションユニットにはヤマハ独自の高圧窒素ガス封入式・カルボンタイプを採用。長時間の連続走行にもオイルのキャビテーション（泡立ち）が少なく、安定した減衰性能、持続力を発揮します。なお、スプリングのイニシャル荷重は、ライダーの好みや走行状況に応じて、5段階に調整が可能です。

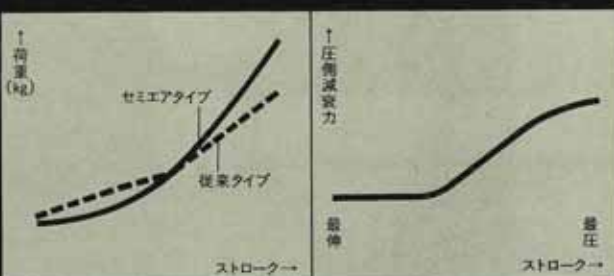
ニューリンク式モノクロスサスペンションのしくみデコの原理を応用。ホイールストロークは同じでも、そのストローク位置によってクッションストロークはライジングレート（漸増）に変化する。



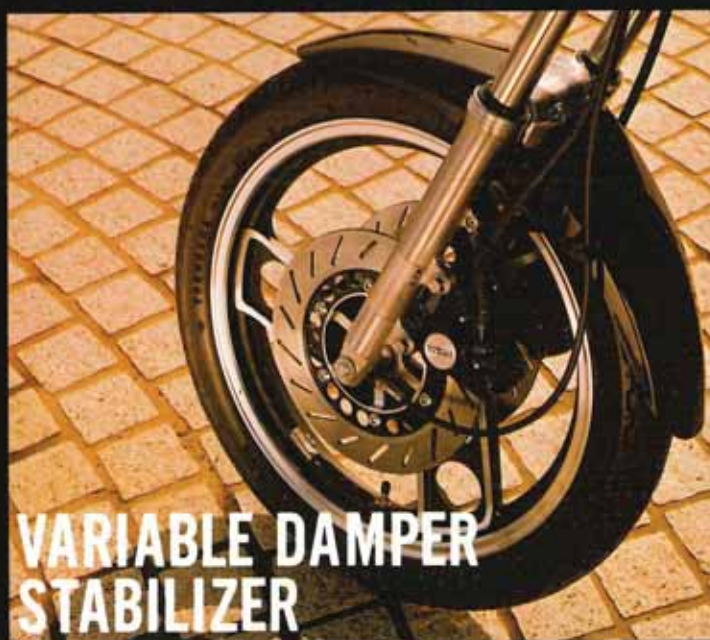
独創のメカニズム。バリエーション豊富なセミア式フロントサスペンション。

フロントには、ソフトな乗りごころと腰のあるフィーリングを実現するセミア式サスペンションを採用。しかもヤマハ独創のバリエーション豊富なダンパーを装備しました。これはクッションストロークの位置によって圧側減衰力を調整する画期的なメカニズム。その構造はシリン

ダーコンプリート上部に設置した検知スプリングがストローク位置によってたわむのを利用、検知スプリングと連動したスプール部を動かす、オイル通路を開閉するもの。これにより最



圧縮付近での減衰力不足によって起こりがちなフロントフォークの過大な動きを解消し、走行安定性と乗車感を大きく向上させました。またフロントフォークには、アルキャストイングスタビライザーを装備し、フォークのねじれ剛性を高め、直進性、操縦安定性を向上させました。



VARIABLE DAMPER
STABILIZER



400c.c.の常識を超えた。

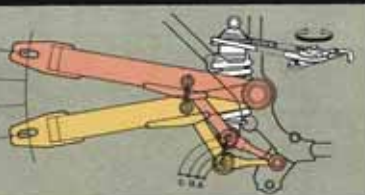
ノサスの先駆者ヤマハが生んだ新しい結論。ニューリンク式モノクロスサスペンション。

00Z・S・Zは、リヤにニューリンク式モノクロスサスペンションを採用。これはヤマハが生んだモノクロスサスペンションの優れたシステムを生かし、リンク機構を設けることによってさらに性能をアップさせたもの。一歩行や小さなギャップでは柔らかく、中間ロック域では徐々に硬く、ギャップ通過時の大きなショックに対しては強くダンパが働くという、理想的なライジングレート特性を得ています。

し、リンク機構はきつてシンプルかつコンパクト。大幅な軽量化と重量マスの集中化が実現し、マシンの重

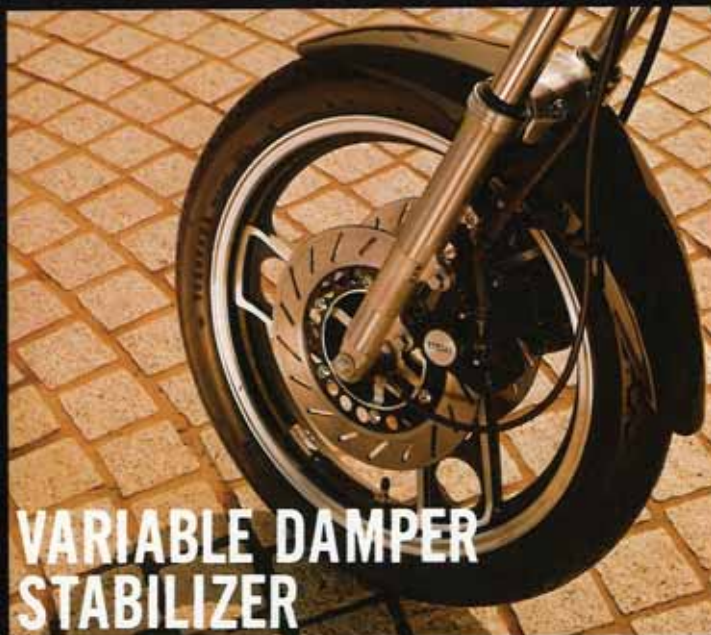
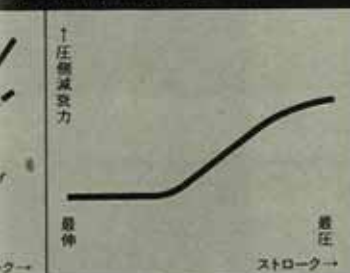
心を下げることにも貢献。操縦性、走行安定性をもさらに高次元なものへと高めました。また、クッションユニットにはヤマハ独自の高圧窒素ガス封入式・カルボンタイプを採用。長時間の連続走行にもオイルのキャビテーション(泡立ち)が少なく、安定した減衰性能、持続力を発揮します。なお、スプリングのイニシャル荷重は、ライダーの好みや走行状況に応じて、5段階に調整が可能です。

ニューリンク式モノクロスサスペンションのしくみ
デコの原理を応用。ホイールストロークは同じでも、そのストローク位置によってクッションストロークはライジングレート(漸増)に変化する。



ミエア式フロントサスペンション。

近付近での減衰力不足によって起こりがちなフロントフォークの過大な動きを解消し、走行安定性と乗車感を大きく向上させました。フロントフォークには、アルカヤスティング・スライダーを装備し、フォークのねじれ剛性を高め、直進性、操縦安定性を向上させました。



VARIABLE DAMPER STABILIZER

ORGANIC FORM DESIGN



**COWLING
HALOGEN
HEAD LAMP**

空力にすぐれたカウリングを標準装備(Z・S)。
12V60/55Wハロゲンヘッドランプ採用。

空力特性を考慮し、ライダープロテクション効果を高めるカウリングをXJ400Z-Sに標準装備。ヘッドランプには、マーカーランプ内蔵の12V60/55Wのハロゲンフォーツを採用。またフラッシャーランプはクリアランスランプ(車幅灯)兼用とし、薄暮時の被視認性を向上。ホーンは、高低2音のダブルホーンとしています。



豪華な4連メーターには、スピードメーター、燃料計、水温計、油圧計。またオイル圧警告装置を設け、ライダー

LIQUID COOLED・DOHC・16VALVES

XJ400Z-S
XJ400Z

YICS

ORGANIC FORM DESIGN



堂々たる車格と、ジャストフィット・ライディングを両立。オーガニックフォーム・デザイン。他を圧倒する車格をもちながら、ひとたび跨れば、まさにジャストフィットのライディングポジション。その秘密は、機能性と美しさを追求したオーガニックフォーム・デザインにあります。19ℓの大容量を持ちながらニーグリップしやすいフュエルタンク、ベストのライディングポジションが得られるロングシート。スリム、コンパクトなエンジンと、低いシート高とあいまって、足つき性も抜群です。またビルトインしたテールランプ、随所に採用したジュラルミンパーツなど、乗る人に喜びと誇りを与えてやまないラグジュアリーな設計、装備を施しました。

BUILT-IN
TAIL LAMP

テールランプは、万一の球切れ時にも安心な2球式。フラッシャーランプとともに、シートカウルにビルトイン。グラブバーは、ゴージャスなアルミダイキャスト製。またシートテールには便利な小物入れを設置しました。

NEW DESIGN HANDLE SWITCH

ハンドルは、レーザータイプのグリップエンドをもつブラック仕上げのジュラルミン鍛造セパレートハンドル。ハンドルスイッチは、回転式のチョークレバー、プッシュキャンセル・フラッシャースイッチなどを機能的に配した新タイプ。使うライダーの身になった設計です。

COWLING
HALOGEN
HEAD LAMP

空力にすぐれたカウリングを標準装備(Z-S)。12V60/55Wハロゲンヘッドランプ採用。

空力特性を考慮し、ライダープロテクション効果を高めるカウリングをXJ400Z-Sに標準装備。ヘッドランプには、マーカーランプ内蔵の12V60/55Wのハロゲンキャッツを採用。またフラッシャーランプはクリアランスランプ(車幅灯)兼用とし、薄暮時の被視認性を向上。ホーンは、高低2音のダブルホーンとしています。

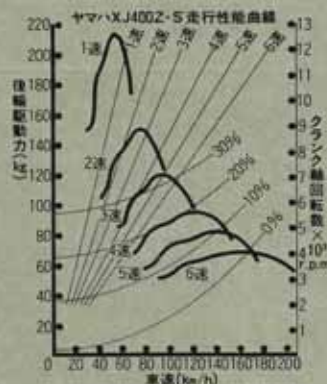
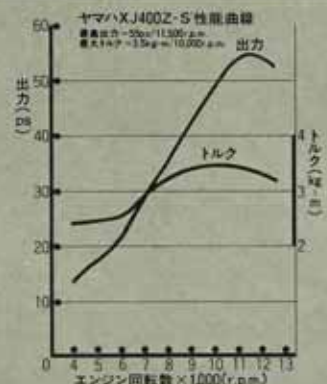


COCKPIT

豪華な4連メーター採用。メーターパネルは、スピードメーターのほか、電気式タコメーター、燃料計、水温計をビルトインした4連メーター。またオイルレベル警告灯を設置したほか、メインスイッチには始動飛出し防止装置を設け、ライダーの安全性を高めました。

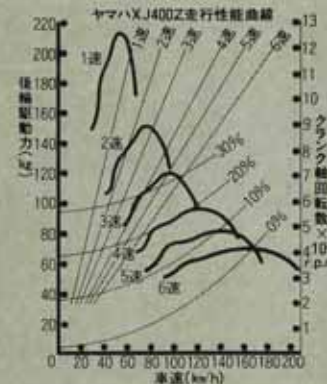
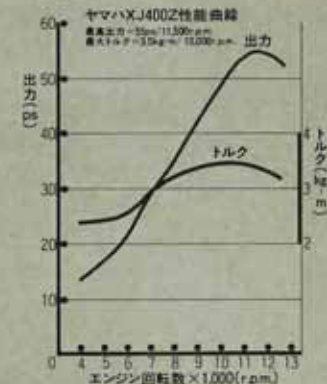
XJ400Z-S

●標準現金価格¥538,000(北海道を除く)
●スーパーレッド
●ニューヤマハブラック



XJ400Z

●標準現金価格¥515,000(北海道を除く)
●スーパーレッド
●クォーツシルバー



XJ400Z-S (XJ400Z)		制動停止距離	14m (50km/h)	点火方式	トランジスタ	変速機形式	リターン式6段
機種コード	35J(33M)	エンジン種類	4サイクル・DOHC・4バルブ	燃料タンク容量	19.0ℓ	変速比	2.733/1.947/1.545 1.240/1.074/0.931
全長/全幅/全高	2100mm/725mm/1235mm(1115mm)	気筒数配列/総排気量	並列4気筒/399cc	オイル容量	2.9ℓ	フレーム形式	鋼管ダブルクレードル
軸間距離	1420mm	内径×行程	54.0mm×43.6mm	潤滑方式	強制圧送ウェットサンプ	キャスト/ホイール	25"40/106mm
シート高/最低地上高	790mm/165mm	圧縮比	10.5:1	バッテリー容量/型式	12V・12AH/12N12A-4A	タイヤサイズ・前/後	90-90-18 51H/110-90-18 61H
乾操重量	179kg(177kg)	最高出力	55ps/11,500rpm	1次減速機構/減速比	ギヤ/2.849(22/21×68/25)	油圧式ダブルディスクブレーキ	制動装置・前 後
燃費・定地走行テスト値	53.0km/ℓ(60km/h)	最大トルク	3.5kg-m/10,000rpm	2次減速機構/減速比	チェーン/2.875(46/16)	油圧式シングルディスクブレーキ	
最小回転半径	2500mm	始動方式	セル式	クラッチ形式	湿式多板		

●燃費は定められた試験条件のもとでの値です。従って走行時の燃費・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容が一部実車と異なる場合があります。●ボディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。

XJ400Z-S・Z専用オプション



- シートキャリア ¥3,900(①)
- アンダーカウリング ¥11,000(②)
- エンジンガード ¥5,500
- デジタルロック(Z-S専用) ¥8,500
- アッパーカウリング(Z専用) ¥28,000



- ヘルメット YF 20000 (ホワイト/スーパーレッド) ¥27,000(①)
- ヘルメット YF 3500 (ブラックゴールド) ¥35,000(②)
- レーシングブーツ YL-501 (レッド/ブラック) ¥29,000(③)
- レーシングブーツ YL-503 (ブラック) ¥29,000(④)
- ツーリングブーツ YL-304 (グレー/ダークグレー) ¥102,000(⑤)
- レーシングブーツ YL-302 (ブラック/レッド) ¥110,000



HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく。

- ★ヘルメットを正しくおはきしょう。
- ★点検・整備を忘れずに。
- ★安全のため改造はやめましょう。

- 安全速度で走りましょう。
- カーブではスピードをひかえめに。
- ヤマハライディングスクールで、正しいライディングテクニックをマスターしましょう。

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県磐田市新元2500
TEL.05383(2)1111
8304-50D, ⑤-011236

YAMAHA